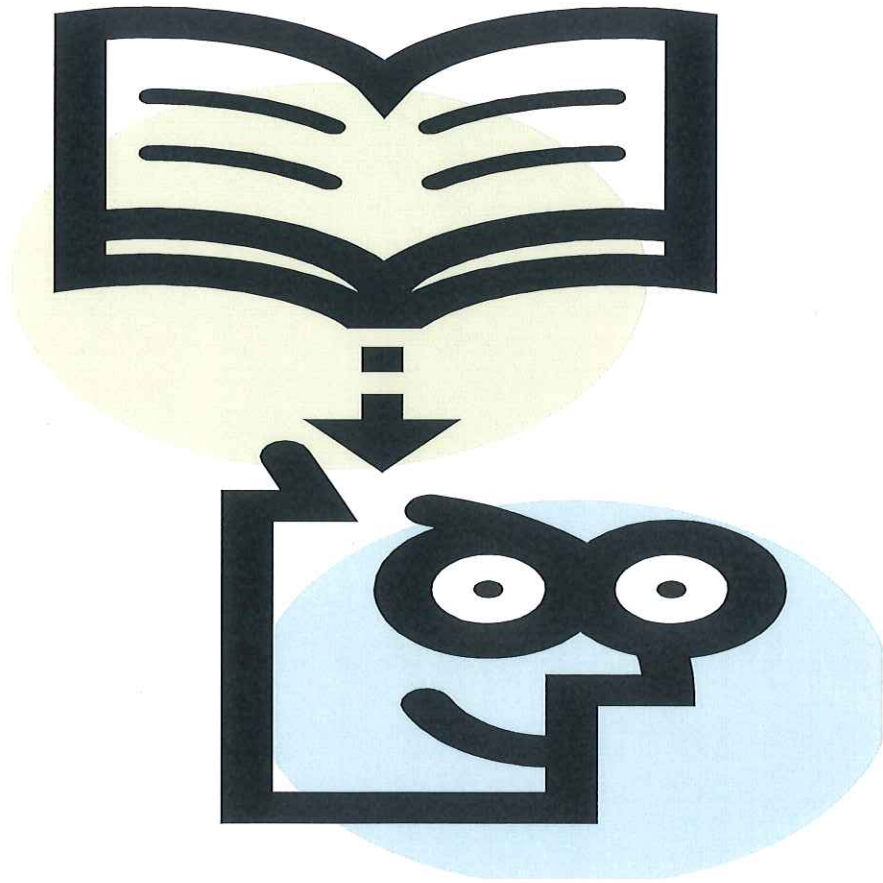


II シラバス



1. 基礎分野

1) 基礎分野構築の考え方

基礎分野は、専門基礎分野および専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、統合分野を学ぶための基礎としてさらに人間形成を促がすことを目的として位置づけた。

教育内容は、生命の尊厳を基盤とした人間性を養い、看護職に必要な人間と人間の生活・社会を深く理解し、論理的判断能力を養い、専門職業人として自ら研鑽し成長し続けていけるように構築した。

科目構成は、「科学的思考の基盤」では、事象を分析的・論理的に思考し、科学的なものの見方や表現力を身につけるため論理学、環境生態学、情報科学を設定した。

「人間と生活、社会の理解」では、人間として専門職業人として必要な倫理観を培い、人間の生活や文化の多様性を幅広く理解し、国際社会に対応できるようなものの見方、考え方を養う。また、感性を磨きコミュニケーション能力や対応能力、表現力、創造性や主体的な行動力を育成するため、哲学、教育学、心理学、倫理学、音楽、文化人類学、人間関係論、体育理論・実技、英語Ⅰ・Ⅱを設定した。

進度については、専門基礎分野、専門分野、統合分野の進度状況と学生の人間的成長を考え、1年次と3年次に配置し、学べるようにした。1年次には、「科学的思考の基盤」となる3科目と、「人間と生活、社会の理解」となる科目の中から、人間の生活や文化の多様性を幅広く理解するための心理学、倫理学、文化人類学、人間関係論、英語Ⅰの5科目を配置した。

3年次には、臨地実習の体験と並行させながら人間の尊厳や自己の人生観を考える哲学、教育の意義と生涯教育の必要性を学ぶ教育学、看護の実践場面における英会話を身につけるための英語Ⅱ、感性を育み豊かな表現力の育成につながる音楽、健康生活と運動の関連を理解し健康生活への支援に役立てられるようにする。運動・レクリエーションの実際を学び実践することで、看護実践で活用できると同時に自己の健康生活に役立てられるように運動と健康の5科目を配置した。これらの科目を学ぶことで心身を豊かにし、臨地実習での学びをより充実することにつながると思う。

2) 基礎分野の構成と科目のねらい

教育内容	科目名	単位数 (時間数)	ねらい
科学的思考の基盤	論理学	1単位 (30時間)	身近な事象や経験から論理的に考えることを知り、文章の道筋の論理的な運びを学ぶ。また、自己の文章表現方法を理解し、意見交換の能力を高める。
	情報科学	1単位 (15時間)	コンピュータの基礎知識、装置、操作の基本、およびipad操作を習得することで、情報の活用能力の向上を目指し、情報社会に柔軟に対応できる能力を養う。
	環境生態学	1単位 (30時間)	ヒトや生物の外的条件である環境因子(物理的、化学的、生物的、社会的)が、生体とその各部の生理機能に与える影響について理解する。
人間と人間生活の理解	哲学	1単位 (30時間)	人間の存在、人間の生き方に関する諸課題について哲学的に考察し、これまで学んだ知識や体験を統合して自己の看護観を探求する姿勢を養う。
	教育学	1単位 (15時間)	人間の成長と教育の意義を理解し、家庭教育や学校教育、社会教育について学習し、人間を尊重し、人間が人間らしく生きて生活するとはどのようなことなのか等について考え、自己を探求することが出来る能力を養う。
	心理学	1単位 (30時間)	「こころ」の動きのメカニズムを知り、自己理解と自己統制を助け、人間の知覚・記憶・性格・感情・発達などについて学び他者や集団の心理を理解する。
	倫理学	1単位 (30時間)	生命、社会、看護と倫理について学ぶことで、人々の生きる権利、尊厳を保つ権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することについて理解する。
	音楽と芸術	1単位 (30時間)	看護者としての感性を磨く。暮らしの中の芸術に触れ、看護の対象者と関わるための幅広い知識を身につける。
	文化人類学	1単位 (15時間)	他民族の人類学的特徴、生活様式、風俗習慣、宗教的儀礼、政治形態、教育制度などを知ることにより、身近な日本民族の特徴を理解する。
	人間関係論	1単位 (30時間)	人間が生活していく中で、他者とのかかわり、人間関係を築くことの重要性を理解し、人間関係の上に援助が成り立っていることを理解する。
	運動と健康	1単位 (30時間)	健康生活と運動の関連を理解し、健康生活への支援に役立てられるようにする。運動・レクリエーションの実際を学び、看護実践で活用できるようにする。運動・レクリエーションを実践することで自己の健康生活に役立てられるようにする。
	英語 I	1単位 (30時間)	英会話、文法の基礎知識を学習し、英会話の理解できる国際的看護師育成の基盤とする。
	英語 II	1単位 (30時間)	看護上必要な身体部位・症状など病院で日常使われる英会話の実際を学ぶ。

1.基礎分野－3) 教授内容

(1) 科学的思考の基盤

授業科目	論理学	講師名	山根 輝夫	単位 1単位	時期 1年次前期
				時間 30時間	
科目目標	1. レトリックを駆使した文章を書くことができる。 2. 講師の「添削」を参考にリライトして、分かりやすい文章にすることができる。 3. 看護に関することをはじめ社会の動き、時事を理解するために新聞などを読む習慣を身に着ける。 4. 書くことは思考の訓練、整理にもつながる。日常の些細な事なども含め、機会あるごとに、分かりやすく正確なメモ書きを習慣づける。				
単元	回数	授業内容			方法
	1	【日本語を読み・書く「実用的な論理術」①】 日常的な論理センスを磨く方法や、ねじれ文をなくす方法について学習する。			講義・演習
	2	【日本語を読み・書く「実用的な論理術」②】 論理的文章における接続表現の機能やレポート・論文の文末表現について学習する。			
	3	【構文 2 大要素①】 「語順の 6 原則」について学習する。			
	4	【構文 2 大要素②】 「テンの 2 大原則」について学習する。			
	5	【パラグラフ・ライティングの 3 原則①】 「段落」の書き方について学習する。			
	6	【パラグラフ・ライティングの 3 原則②】			
	7	【何を、どういう順序で書くのか？】 書く前の立案ノウハウについて学習する。			
	8	【文章は建築物①】 「起承転結」のからくりについて学習する。			
	9	【文章は建築物②】 「起承転結」の活用術について学習する。			
	10	【「意見」と「事実」は違う①】 判別の仕方について学習する。			
	11	【「意見」と「事実」は違う②】 表記方法について学習する。			
	12	【論理的に書ける方程式】 趣旨を 100%伝える技や、論点とテーマの違いについて学習する。			
	13	【白楽天の心がけ】 言葉の力・適切な用語の選び方について学習する。			
	14	【文章のメーキャップ】 仕上げのテクニックについて学習する。			
	15	【文章を削るコツ】 文章上達法の一つ・リライトについて学習する。			
評価	講義ごとに実施する「実践小論文」80%、「授業参加度」20%により評価する。				
テキスト等	随時プリント配布 参考図書: 山根 輝夫著:「レトリックのすすめ 上手にかける方程式」 随想舎				

授業科目	情報科学	講師名	稲見 聡	単位 1 単位	時期
			五十嵐 稔 中村 正明		
科目目標	1. IT 機器の基本操作について理解できる。 2. インターネットを利用して情報収集ができる。 3. 情報科学の演習を通して、レポート作成ができる。				
回数	授業内容			方法	担当
1	iPad の基本操作			講義と演習	稲見 聡 五十嵐稔
2	iPad の基本操作				
3	iPad の基本操作				
4	パソコンの基本操作			講義と演習	中村正明
5	パソコンの基本操作(ワード・エクセル)				
6	パソコンの基本操作				
7	パソコンの基本操作(看護と情報における倫理、個人情報)				
評価	筆記試験 100 点 1～7についての試験:試験 90%、出席状況 10%				
テキスト等 随時プリント配布					

授業科目	環境生態学	講師名	川合 覚	単位	1 単位	時期
				時間	30 時間	
科目目標 1. 環境生態学について理解する。 2. 環境の構造と生体への影響を理解する。 3. 身近な生活環境に潜む様々な疾患について理解する。						
単元	回数	授業内容			方法	
環境生態学とは	1	1. 環境生態学とはなにか。 2. 環境問題の現状			講義	
環境の構造と生体への影響-1 (生物学的要因)	2 3 4 5 6 7	1. 生物学的要因 1) 感染症拡大の背景を考える 2) 人獣共通感染症の実態 3) 身近な生活環境に潜む感染症 4) 食品や飲料水を介した感染症 5) 輸入感染症 6) 身近な生活環境に潜む衛生動物の被害			講義	
環境の構造と生体への影響-2 (化学的要因)	8 9 10 11 12	1. 化学的要因 1) 公害病 2) 毒と薬、有害化学物質による中毒 3) 化学物質を原因とするシックハウス症候群 4) タバコによる健康被害 5) 生物毒の健康被害			講義	
環境の構造と生体への影響-3 (物理的要因)	13 14	1. 物理的要因 1) 球温暖化と健康被害 ・ヒートアイランド現象 ・熱中症 2) オゾン層の破壊と健康被害 ・紫外線の役割 ・紫外線による健康被害			講義	
評価	15	筆記試験 100 点 筆記試験70%、講義終了後の小テスト20%、出席状況10%			講義	
テキスト等： 暮らしと環境科学 日本化学会編、東京化学同人						

1.基礎分野－3) 教授内容

(2) 人間と生活・社会の理解

授業科目	哲学	講師名	田中 見太郎	単位 1単位 時間 30時間	時期 3年次後期
科目目標 1. 哲学の概要を理解する。 2. 人間の尊厳を考えることができる。 3. 自己の人生観を考えることができる。					
単元	回数	授業内容			方法
総論	1	パーソナリティ障害			講義
	2	パーソナリティ障害			
古代ギリシャ哲学 から近代哲学まで	3	乳児研究			
	4	心の理論研究			
認識論	5	社会脳研究			
	6	ミラーニューロン			
	7	知覚的自己			
	8	暗黙の知識			
	9	概念的自己			
	10	人格的自己			
	11 12	ASDと自己			
	13	自己の障害(1)			
	14	自己の障害(2)			
	評価	15	試験 筆記試験 100% 100点(90分)		
テキスト等 毎回資料を配布する。					

授業科目	教育学	講師名	小原一馬	単位 1 単位	時期 3年次後期
				時間 15 時間	
科目目標 1. 教育と遊びを通して、教育の意義を学び、教え育てることの価値を理解する。 2. 教育と人間形成の過程を学び、教育が人間の成長発達に影響を与えていくことを理解する。					
単元	回数	授業内容			方法
教育と遊びの学説	1	なぜ教育を学ぶのか			講義
	2	面白さの多様性			
	3	遊びと集中			
	4	遊びと集中:神経学的基礎			
	5	集中と意味・環境1			
	6	集中と物語構造			
	7	効率的学び方			
評価	8 (45分)	筆記試験 100 点 筆記試験 80%、授業参加 20%			
テキスト等 講師配布資料					

授業科目	心理学	講師名	稲見 聡 山本果奈	単位 1 単位	時期 1 年次前期
				時間 30 時間	
科目目標 1. 精神の分類(知覚、記憶、思考、情緒、意思、人格)について理解できる。 2. 精神の測定(人格テスト)について理解できる。 3. 精神の発達と老化について理解する。 4. 精神と脳について理解する。 5. カウンセリングについて理解できる。 6. アンガーマネジメントの基礎を知り、人の感情や自己効力感について理解できる。					
単元	回数	講義内容		方法	担当
	1	心理学の問題 知覚の心理		講義	稲見 聡
	2	記憶の心理		講義	
	3	思考想像・言語の心理		講義	
	4	知能の心理、学習の心理		講義	
	5	適応の心理		講義	
	6	発達心理学		講義	
	7	発達心理学		講義	
	8	カウンセリング		講義	
	9	カウンセリング		講義	
	10	カウンセリング		講義	
	11	医療と心理学		講義	
アンガーマネジメント	12	1. 感情と動機付け 1) 怒りの感情、感情表現の言葉 2) 動機付け、葛藤と欲求不満 3) 自己効力感		講義 演習	山本果奈
	13				
	14	2. 性格と心理 3. 社会と集団 1) 対人知覚 2) 態度とコミュニケーション 3) 対人関係と親密さのレベル			
評価	15	筆記試験 80 点(60 分) レポート 20 点			
テキスト等: 心理学. 系統看護学講座 基礎分野, 医学書院, 2019 資料配布					

授業科目	倫理学	講師名	星 昇次郎 山根美智子	単位 1単位	時期 1 年次後期
				時間 30 時間	
科目目標 1. 社会規範及び人間の学びとしての倫理学について理解できる。 2. 倫理学の由来と本質を古代ギリシャ哲学を通して学ぶ。 3. 近代の倫理思想を社会と個人の関係のあり方として理解する。 4. 映画・小説を通して生命倫理と倫理原則について考える。 5. 医療・看護現場で遭遇する倫理的問題をとおし、自己の倫理観を高める。					
単元	回数	授業内容		方法	担当
はじめに	1	倫理学とは何か		講義	星 昇次郎
古代(ギリシャの倫理思想	2	古代ギリシャの人間理解			
	3	初期ギリシャ哲学の成立			
	4	ソフィストとソクラテス			
	5	プラトンとアリストテレス			
近代ヨーロッパの倫理思想	6	近代の人間観(ルネサンス・宗教改革・科学)			
	7	近代イギリスの倫理思想			
	8	フランス啓蒙思想とルソー			
	9	カントとヘーゲルの倫理思想			
評価	(50分)	筆記試験 70 点			
生命倫理	10	映画にみる生命倫理		講義	山根美智子
	11	小説にみる生命倫理			
医療・看護と倫理	12	医療現場における倫理問題 (尊厳死と安楽死・出生前診断・身体拘束等)			
	13	倫理とケアリング			
	14	援助者としての倫理的センス			
評価	(40分)	30 点 課題レポート、授業参加状況、出席状況等総合的に判断する。			
テキスト等 必要に応じて資料を配布する。					

授業科目	音楽と芸術	講師名	増渕博子 島田恭子 中村臣一/野中淳児 小野栄二 3年担任	単位 1単位	時期 3年次前期
			時間 30時間		
科目目標	1. 看護者としての感性を磨く。 2. 日本の伝統文化や暮らしの中の芸術に触れ、看護の対象者と関わるための幅広い知識を身につける。				
単元	回数	授業内容	方法	担当	
音楽と音楽療法	1 2 3 4 5 6	人と音楽の関係 音楽と癒し 音楽療法の歴史 音楽療法の基本 音楽療法で用いられる理論・療法 こころ病む人と関わる時の心構え	講義 実技	増渕博子	
陶芸	7 8	陶芸の魅力 陶芸の鑑賞の仕方	講義 実技	島田恭子	
園芸	9 10 11	園芸療法とは 園芸活動の実際	講義 実技	中村臣一 野中淳児	
能楽	12 13	能との出会い 日本伝統文化の理解	講義 実演	小野栄二	
絵画鑑賞	14 15	宇都宮美術館にて絵画の鑑賞と鑑賞の方法	見学 講義・ GW	宇都宮美 術館 (3年担任)	
評価		出席状況、授業態度、課題・レポートの提出状況と内容等で総合的に判断する。			
テキスト等： 必要に応じて資料を配布する。 材料費、見学科、交通費等の負担あり。					

授業科目	文化人類学	講師名	廣田 龍平	単位 1 単位	時期 1 年次後期
				時間 15 時間	
科目目標 1. 文化や価値観の違いを理解し、幅広く人間をとらえることができる。 2. 多民族の特徴や生活様式、風俗習慣、宗教的儀式等を知り日本文化を理解する。					
回数	授業内容				方法
1	文化人類学的視点				講義
2	日本の家族・親子関係、親族について、文化人類学的理解				
3	親子・親族関係と生殖医療の関わりの理解				
4	出産をめぐる文化と医療の関係 1				
5	出産をめぐる文化と医療の関係 2				
6	医療をめぐる安心・安全の多様性を理解				
7	病気と治療、死をめぐる人類学				
評価	試験 100 点 筆記試験 70%、出席点 30%				
テキスト等 文化人類学, 系統看護学講座 基礎分野, 医学書院, 2019					

授業科目	人間関係論	講師名	小原 一馬 1年 担任	単位 2単位 時間 30時間	時期 1年次後期
科目目標 1. ケアの基礎をなす人間関係の在り方、特に感情と人間関係の関係を学ぶ。 2. 医療チームとして働く上での人間関係の在り方を学ぶ。 3. ワークショップを通して、人間関係の作り方を学ぶ。					
回数	授業内容			方法	講師名
1	二宮尊徳の人間関係の在り方・リーダーシップを学ぶ 1) 二宮尊徳の足跡、報徳訓を理解する			二宮尊徳 資料館見 学 グループ ワーク プレゼン テーショ ン	鈴木
2	2) 二宮尊徳の人間関係の在り方を考察する 3) プレゼンテーションに参加 テーマ「二宮尊徳の人間関係の在り方」				
3	4) 再構築した自己の考えを指定日までにレポートにまとめる				
4	看護と感情			講義 ワークショ ップ	小原
5	怒ることと叱ること				
6	協力と罰、いじめ				
7	感情表現と他者性				
8	システムと感情、家族システム論				
9	アサーショントレーニングのワークショップ				
10	感情と解釈、吊り橋理論				
11	感情の深層演技、表層演技、クレーム対処の方法				
12	看護と共感				
13	チームとリーダーシップのワークショップ				
14	レジリエンス強化のワークショップ				
15	試験 1～3 鈴木:20%20点 (授業参加・提出レポートで総合評価する) 4～14 小原:80%80点 (筆記試験 80%、授業参加 20%)				
評価: 上記記載					
テキスト等 鈴木1～3: 必要な資料を検索し活用する 小原 4～14: 資料を適宜配布する。					

授業科目	運動と健康	講師名	久保 元芳 相田 美智子 常盤 妃代 早川 久子	単位 1単位	時期 3年次後期
			時間 30時間		
科目目標 1. 健康生活と運動の関連を理解し、健康生活への支援に役立てられるようにする。 2. 運動・レクリエーションの実際を学び、看護実践に活用できるようにする。 3. 運動・レクリエーションを実践することで、自己の健康生活に役立てられるようにする。					
単元	回数	授業内容		方法	担当
体育 理論	1	健康生活と運動の関連について 運動の効果について		講義 実技	久保元芳
	2	健康的なウォーキング・ランニングと筋力トレーニング			
	3				
レク リエ ー シ ョ ン	4	病院や施設でできる高齢者を対象としたレクリエーションの実際		講義 実技	相田美智子 (栃木県レクリエーション協会)
	5	・レクリエーションの種類、方法を知り、病院および施設実習でレクリエーションの企画・実施をする時に役立てられる。			
	6	・実施時の留意点がわかる。 ・実施することで気分転換になる。			
	7	・実施するなかでチームワークを学ぶ ・ホスピタリティゲームとアイスブレイキングゲーム			
	8	・活動の選択とハードルの設定 ・プログラムの立案・演習			
ヨガ	9	ヨガの実際 ・自己のからだに意識を向けてアサナ(ポーズ)を行う。		講義 実技	常盤妃代 (NPO法人国際ヨガ協会)
	10	・呼吸法を取り入れアサナを行う。			
	11	・心と体の調和を目的とする健康法としてのヨガを学ぶ。			
笑い ヨガ	12	認知症予防、改善のためスリーA手法を学ぶ 笑ヨガで深呼吸の効果を学ぶ		講義 実技	早川久子
	13	笑ヨガで呼吸筋、横隔膜などの訓練法を学ぶ			
	14				
	15				
評価		出席状況、授業態度、課題・レポートの提出状況と内容等総合的に判断する。			
テキスト等 必要時資料配布 ヨガマット又はバスタオル等の準備					

授業科目	英語 I	講師名	Ben Jansson	単位 1単位	時期 1年次前期
				時間 30時間	
科目目標	1. 英語の基本的な文法が理解できる。 2. 日常生活で使われる基本的な英会話ができる。 3. 演習を通して簡単な英会話ができる。				
回数	Class Topic & Textbook Unit	テーマ			方法
1	Self-Introductions Explanation of course and expectations	自己紹介 コースの説明			講義
2	<i>Sounds Good</i> unit I “Nice to meet you.”	自己紹介と電話番号			
3	<i>Sounds Good</i> unit II “You have a great place!”	家族と家			
4	<i>Sounds Good</i> unit III “I’m looking for a bookstore.”	道案内 建物の立地と方角			
5	<i>Sounds Good</i> unit IV “Let’s get together!”	日常生活について			
6	<i>Sounds Good</i> unit V “How can I help you?”	買い物			
7	<i>Sounds Good</i> unit VI “My train’s at two o’clock”	交通機関と電車の時刻			
8	<i>Midterm Exam</i>	中間テスト			
9	<i>Sounds Good</i> unit VII “It’s my favorite food!”	好きな食べ物 レストランでの注文方法			
10	<i>Sounds Good</i> unit VIII “She has blue eyes.”	人の特徴を説明する			
11	<i>Sounds Good</i> unit IX “Black T-shirts are trendy.”	洋服の色やファッション			
12	<i>Sounds Good</i> unit X “It’s a great job!”	仕事と技術			
13	<i>Sounds Good</i> unit XI “It’ll be hot and humid.”	天気			
14	<i>Sounds Good</i> unit XII “Tell me about your friend.”	友達の性格			
15	<i>Final Examination</i>	期末テスト			
評価: 筆記 リスニングで 100% 100点(90分)					
テキスト: Sounds Good(Level 1) :ピアソン・ロングマン,					

授業科目	英語 II	講師名	Iestyn Evans	単位 1単位	時期 3 年次前期～後期
				時間 30 時間	
科目目標 1. 簡単な医学・看護用語の英語バージョンを理解する。 2. 看護場面において、英語を使って簡単なコミュニケーションがとれる。 3. 英語で文章が書ける。					
回数	Class Topic & Textbook Unit		テーマ	方法	
1	Self-Introductions Explanation of course and expectations		自己紹介 コースの説明	講義	
2	看護英会話 Unit I "Please speak more slowly."		英語で言うとなさの一言		
3	看護英会話 Unit II "Where are you from?"		基本的な個人情報を得る		
4	看護英会話 Unit III "Could you tell me your address, please?"		体重・身長・住所などを聞く		
5	看護英会話 Unit IV "What department do you want to visit?"		初診患者に対する質問 (診療科名)		
6	看護英会話 Unit V "Where is the X-ray department?"		院内での道案内(地図)		
7	看護英会話 Unit VI "What are your symptoms?"		症状の尋ね方		
8	<i>Midterm Exam</i>		中間テスト		
9	看護英会話 Unit VII "Where does it hurt?"		症状の状態を尋ねる (体の部位名)		
10	看護英会話 Unit VIII "Have you ever had any serious illnesses?"		病歴の尋ね方 (病名)		
11	看護英会話 Unit IX "Take one tablet, four times a day."		薬の服用法の説明 (薬の種類)		
12	看護英会話 Unit X "Let me make an appointment for your test."		検査予約時の表現 (日程や検査名)		
13	看護英会話 Unit XI "Your surgery will be tomorrow at 9 a.m."		手術に関する表現		
14	看護英会話 Unit XII "How are you feeling today?"		入院患者に接する際の言い回し		
15	<i>Final Examination</i>		期末テスト		
評価: 筆記 リスニングで 100% 100 点(90 分)					
テキスト: 知念クリスティーン, 上瀧真紀恵: クリスティーンのやさしい看護英会話, 医学書院					